

CHEF HAIKAL JOHARI

Michelin-starred Chef

LONDON
SPEAKER
BUREAU



Topics

- Asia
- Creativity
- Innovation
- Motivation

情熱がシェフたちを駆り立てて絶品料理を作り上げることが多い料理の世界において、ハイカル・ジョハリは料理の腕前だけでなく、人生の最も困難な課題を克服するという揺るぎない決意でも際立っています。

彼は、シンガポールの有名なミシュラン 1 つ星レストラン Alma by Juan Amador の総料理長であり、ハイカルシェフの旅は、立ち直る力と不屈の人間精神の証です。彼の物語は逆境を乗り越える勝利の物語であり、聞く人すべてにインスピレーションを与える物語です。

生まれながらにして料理の才能に恵まれたハイカルシェフの料理の旅は、アルマのキッチンに足を踏み入れるずっと前から始まりました。彼にとって、料理は単なるキャリアの選択ではありませんでした。それは、完全に生きたいという彼の願望を刺激する情熱でした。しかし、運命は彼に残酷な打撃を与え、バイク事故により肩から下が麻痺してしまいました。彼の世界は一夜にして一変し、かつては命知らずのシェフだった彼は気づけば車椅子での生活を余儀なくされ、不確実性に満ちた未来に直面していました。

しかし、ハイカルシェフは、自分の障害を自分の定義とすることを拒否した。医師からの厳しい予後にもかかわらず、彼は純粋な決意と不屈の精神に支えられ、目覚ましい回復の旅に乗り出しました。過酷なセラピーセッションと揺るぎない忍耐力を通じて、彼は困難をものともせず、徐々に自分の体のコントロールを取り戻しました。

アルマへの彼の帰還は、立ち直る力と新たな目的意識によって定義される、彼の人生の新たな章となりました。エグゼクティブシェフの役割を引き受けたハイカルシェフは、アルマのメニューに彼の創造的な才能を注入し、世界中からのダイナーに彼の料理の熟練を披露しました。彼の料理への情熱は彼の生命線となり、直面する困難の中でも慰めと喜びの源となった。

しかし、ハイカルシェフの旅は単に個人的な勝利を意味するものではありません。それは、途中で彼を助けてくれた人たちへの恩返しでもある。彼の回復に中心的な役割を果たした献身的な医療従事者に触発されて、彼は国立大学病院のスタッフに心のこもった食事を提供する取り組みを立ち上げました。新型コロナウイルス感染症のパンデミックによってもたらされた課題にもかかわらず、ハイカルシェフはひるむことなく、回復力と思いやりの精神を体現しました。

現在もシェフのハイカルは期待を裏切り続け、毎日出勤し、正確かつ情熱を持ってキッチンを管理しています。彼の物語は、逆境に直面している人々にとって希望の光となり、忍耐と決意があれば何でも可能であることを思い出させてくれます。ハイカルシェフは、人生の浮き沈みを乗り越えながらも、あらゆる困難の後には勝利が続き、それが彼を前進させる導きの光であるという信念を堅持しています。彼は最近、バンコクの豪華なキンプトン・マーライ・ホテル内にある高級レストラン Avant で新しい事業を始めました。

卓越性が最優先される高級料理の世界において、シェフ ハイカル ジョハリの物語は人間の精神の力の証です。彼は、創作料理と揺るぎない決意を通じて、逆境

に直面しても魂は台所で強さを発揮するということを私たちに思い出させてくれます。

info@londonspeakerbureau.my +603 2301 0988